

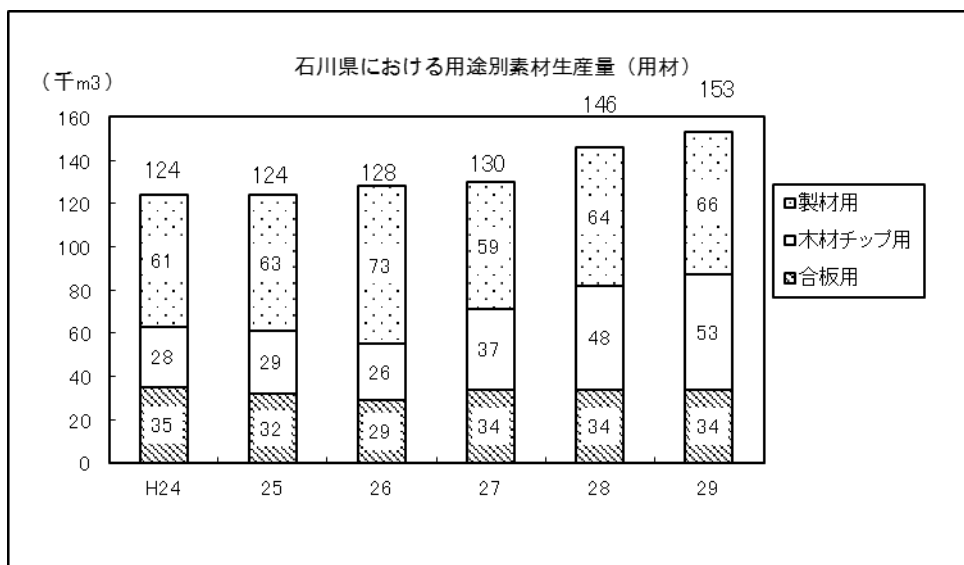
I 石川県における木材の加工流通の概要

1 木材需給の現況

(1) 素材(丸太)

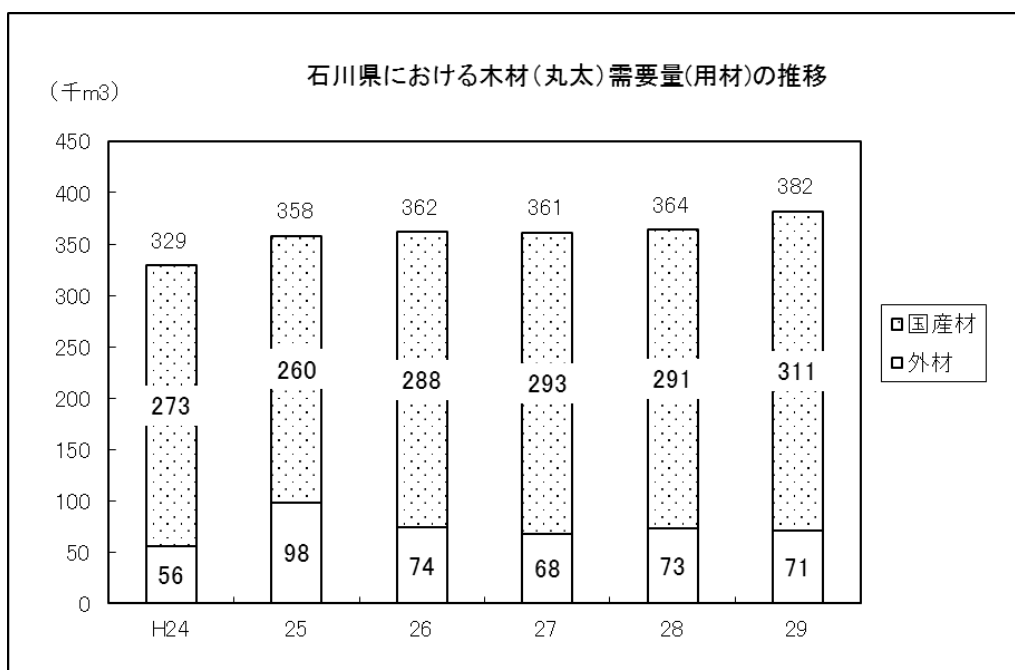
○ 素材生産量は増加 (Ⅱ-2表)

平成 29 年次の県内素材生産量は 153 千 m³ (対前年 104.8%) であった。用途別では、製材用が 66 千 m³ (対前年 103.1%)、合板用が 34 千 m³ (対前年 100.0%)、チップ用が 53 千 m³ (対前年 110.4%) となった。



○ 木材需要量は増加 (Ⅱ-8表)

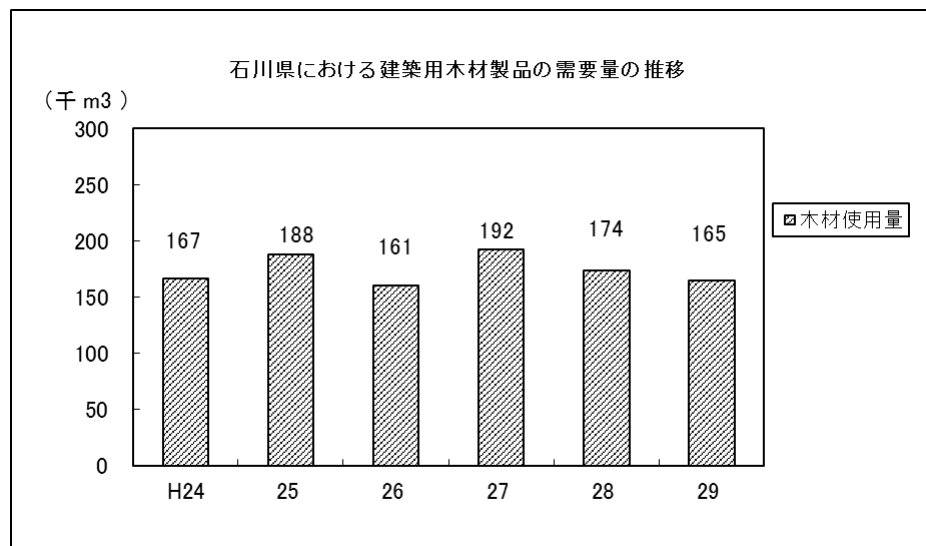
平成 29 年次の県内木材(丸太)需要量は 382 千 m³ (対前年 104.9%) となった。内訳は、国産材が 311 千 m³ (対前年 106.9%)、外材が 71 千 m³ (対前年 97.3%) であり、国産材の割合は、81.4% (対前年 1.5 ポイント増) となった。



(2) 製品

○ 建築用木材製品の需要量が減少 (VI-3 表)

平成 29 年次の県内建築物着工床面積は木造 687 千 m^2 (対前年比 101.3%)、非木造 524 千 m^2 (対前年比 79.3%) であったことから、建築用木材製品の需要量 (推計) は 165 千 m^3 (対前年 94.8%) となった。



【推計方法】 木造：着工床面積 (m^2) \times 0.180 (m^3/m^2)

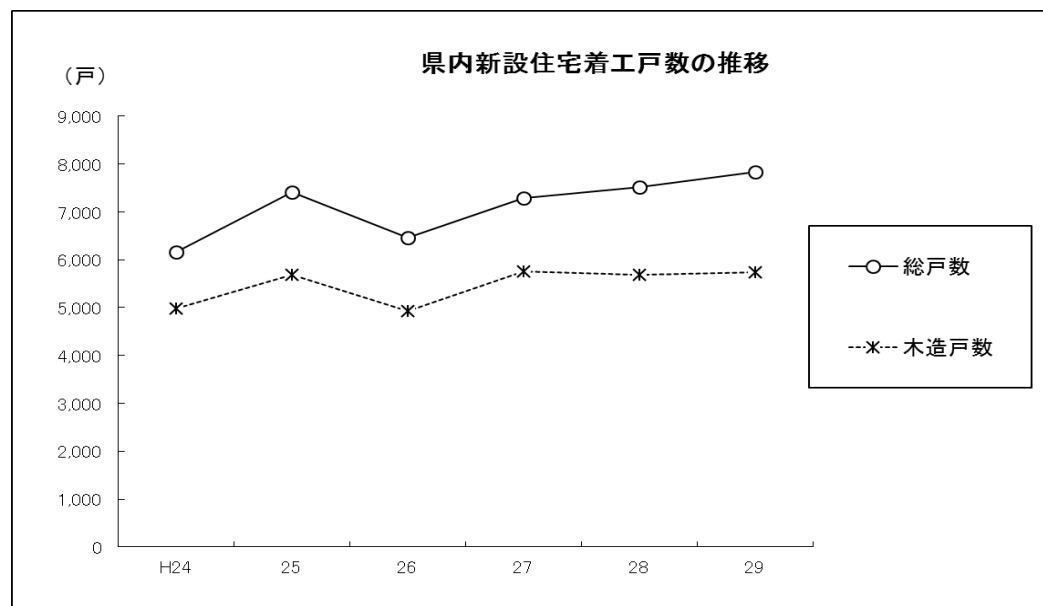
非木造：着工床面積 (m^2) \times 0.078 (m^3/m^2)

(3) 新設住宅着工戸数の推移

○ 新設住宅着工戸数は増加、木造戸数は微増 (VI-1 表)

平成 29 年次の県内新設住宅着工数 7,840 戸 (対前年 104.2%) のうち木造住宅は 5,740 戸 (対前年 100.8%) となった。新設住宅着工数の木造率は 73.2% (対前年 2.5 ポイント減) であった。

着工新設住宅の総床面積は 748 千 m^2 (対前年 102.0%) で、1 戸当たりの平均床面積は 95.4 m^2 (対前年 97.9%) であった。



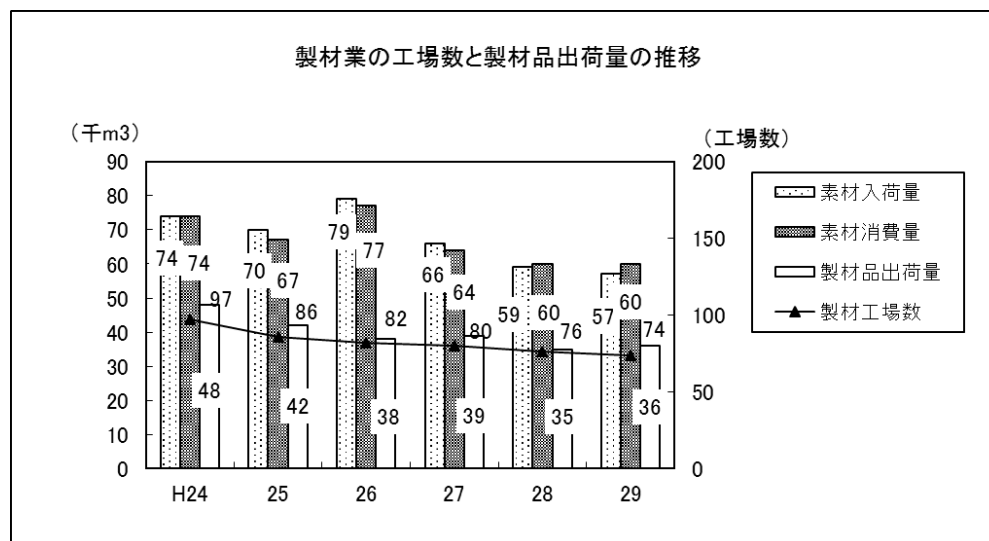
2 木材加工業の現状

(1) 製材業

○ 工場数が減少 (Ⅲ-2表)

平成29年次の県内製材工場数は74工場(対前年2工場減)、素材消費量は60千 m^3 (対前年100.0%)であった。

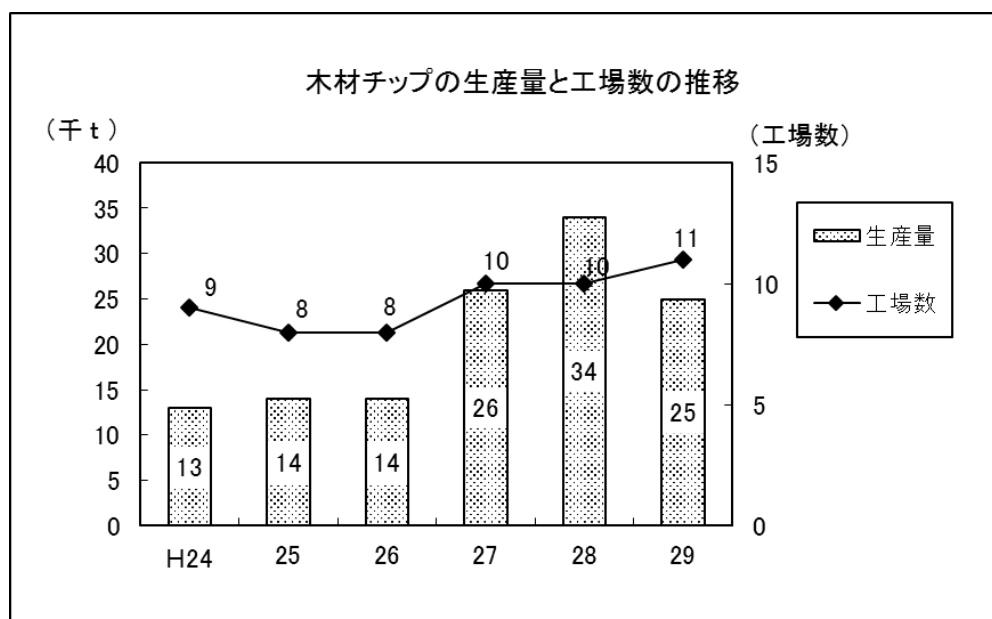
また、動力の総出力数は、6,505kW(前年比99.5%)であり、1工場当たりの平均出力数は87.9kWであった。



(2) 木材チップ工業

○ 生産量は減少 (Ⅲ-6表)

平成29年次の県内木材チップ生産量は、25千t(対前年73.5%)となった。原材料入手区分別では、工場残材が6千t(対前年200.0%)、林地残材が4千t、素材が15千t(対前年83.3%)となった。工場数は11工場(対前年1工場増)であった。



※合板加工業については、1社のみであるため記載を省略

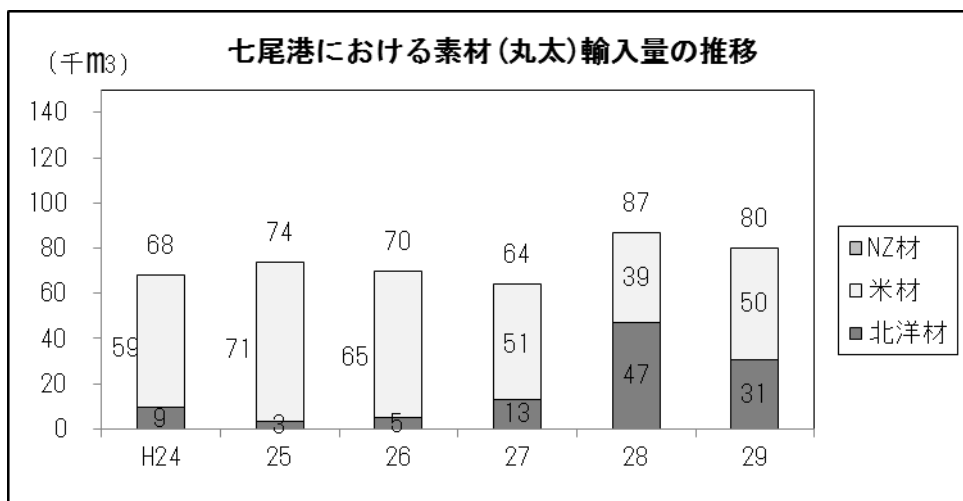
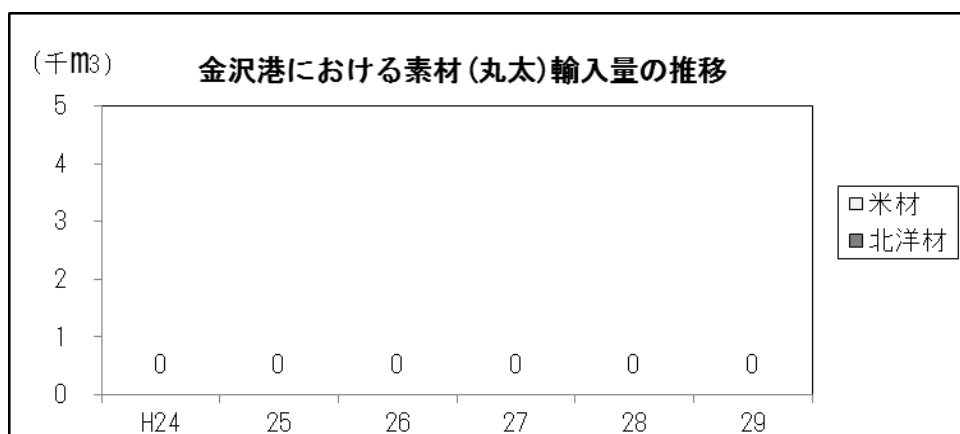
3 木材輸入の動向

(1) 素材(丸太)

○ 輸入量が減少 (IV-1・2表)

平成 29 年次の県内素材(丸太)輸入総量は 80,168^m³ (対前年 92.6%) で、そのすべてが七尾湾への陸上げであった。内訳は、北洋材が 30,720^m³(対前年 65.0%)、米材が 49,448^m³(対前年 125.9%)であった。

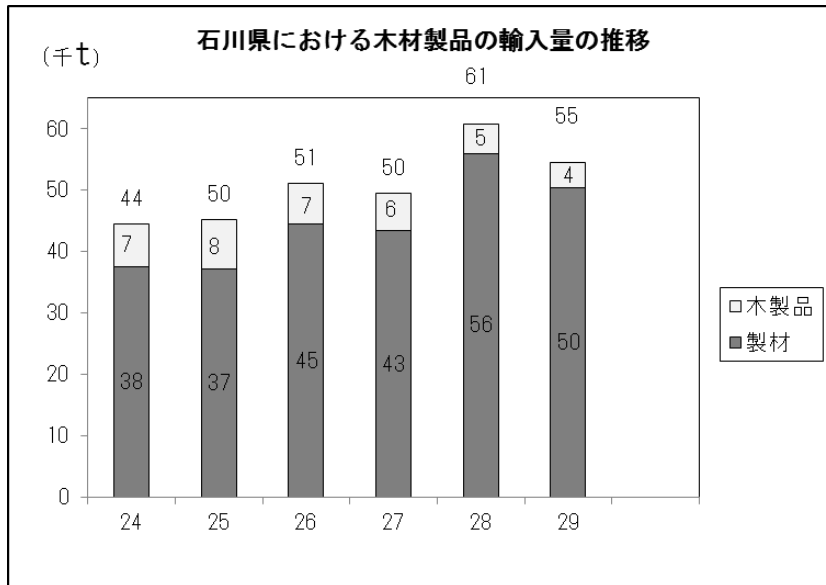
北洋材の内訳をみると、カラマツが 27,456^m³ (構成比 89.4%) であった。



(2) 製品 (IV-3・4表)

平成 29 年次の県内木材製品の輸入総量は 54,502t(対前年比 89.7%)で、その内訳は製材が 50,388t(対前年比 89.9%)、木製品が 4,114t(対前年比 87.6%)であった。

注：木製品は、合板、集成材、建具等を指す。

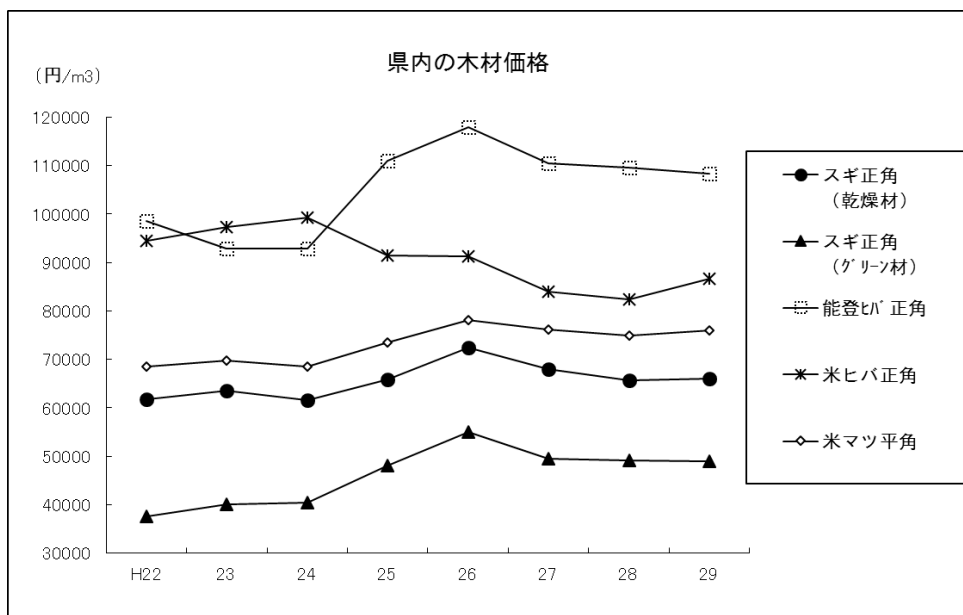


4 木材価格の動向

(1) 製品

○ 製品価格は横ばい (V-2表1)

平成29年次の県内の木材製品価格は、スギ正角（乾燥材）66,000円/m³（対前年300円高）、スギ正角（グリーン材）48,900円/m³（対前年200円安）、スギ平割62,600円/m³（対前年1,600円高）、能登ヒバ正角108,300円/m³（対前年1,200円安）となり、ベイヒバ正角86,700円/m³（対前年4,400円高）、ベイマツ平角76,000円/m³（対前年1,100円高）となった。



平成19年5月から価格動向調査の調査項目を一部変更。

注：スギ正角の調査について、乾燥材とグリーン材に分けて調査開始。

(2) 素材(丸太)

○ 原木価格が上昇 (V-2表2)

平成 29 年次の県内の素材価格は、スギ 11,600 円/m³(対前年 1,000 円高)、能登ヒバ 19,000 円/m³ (対前年 1,300 円高)、北洋カラマツは 24,800 円/m³(対前年同)、ベイマツ 30,300 円/m³(対前年 800 円高)となった。

